

# たたかう80代

21日は、「敬老の日」です。戦争反対、平和の心次世代に継ぐと、たたかう80代を訪ねました。

## 千葉県松戸市の老人会仲間

### 反戦スタンディング

「青春はなかった。たえを感じています。すべてが戦争。あんな思い、もう誰にもさせたくない」。戦争法案

「青春時代はすべて反対の反戦スタンディングが戦争だった」と語る2人。太平洋戦争開戦は、千葉県松戸市の佐藤よし子(87)と田原智恵子(88)と田原さん。東京にいた佐藤さん(88)。地域。女学校にはほとんどの日本共産党後援会の人たちと一緒に6月からの軍需工場や戦艦用の通信機を組み立てました。先には後援会だった佐藤さんと、物資も食料も枯れ、老人会の友人の田原さんを誘いました。

「9条守れ」平和が「一番」と書いたプラスタワーを手に大通りに立ちます。行動は1時間必死。青春はなかった。におよぶことも。車から手をふる人、声援を送る学生たち。手ご

田原さん。空からばら

# 平和の心 次世代に

ぼらと落ちる焼夷(しょうい)弾を見て「もう生きてはいられないかも」と思ったことも。授業では竹やりを手に「鬼畜米兵を倒すため」の訓練に精を出しました。「お国のため、何でも我慢しました。それが当たり前だった」。そして敗戦。「やっと安心して眠れる。ああ、良かった」と一番に思ったという佐藤さん。しかし兄はルソン島で戦死。一面の焼け野原の前に「あの我慢は一体何だったのか。誰のせいなのか」という疑問と怒りが湧き上がってきた。

### 9条を守るう

した国会と、その国会を包囲する群衆の怒りデモをテレビから見守った2人。

### 戦争は何ひとついいことはない。9条があつたからこそ70年間も戦争をしないで来られた。絶対に変えちゃだめ」(佐藤さん)

「若い人も国会議員もがんばっている。私たちが自分なりの決意を持って、足腰が悪いからデモへは行けない。せめて看板を持って立ちつづけます」(田原さん)はきはきと語る2人。ともに一人暮らしですが、グラウンドコ

「戦争は何ひとついいことはない。9条があつたからこそ70年間も戦争をしないで来られた。絶対に変えちゃだめ」(佐藤さん)

「若い人も国会議員もがんばっている。私たちが自分なりの決意を持って、足腰が悪いからデモへは行けない。せめて看板を持って立ちつづけます」(田原さん)

はきはきと語る2人。ともに一人暮らしですが、グラウンドコ

(声川章子)



戦争法反対のスタンディングをする(左から)田原さんと佐藤さん=千葉県松戸市

9/21 2015